

お米のはなし

お米や稲に関するちょっとした情報・豆知識を専門家が綴る「お米のはなし」の第27弾をお届けします。

(シリーズ担当：R. I.)

27. 各国における NERICA の普及状況

表 27-1 には、サブサハラ・アフリカ諸国における NERICA の普及状況を示しました (2013 年現在)。右欄の NERICA 収量は、筆者が栽培面積と生産量から算出して加えたものです。残念ながら、表 27-1 には陸稲と水稲の栽培面積比率、品種ごとの栽培面積などの情報はなく、単に各国における NERICA の栽培面積の合計を示したものと思われる。この表によれば、2013 年現在、アフリカ全体の稲作面積 1090 万 ha に対し、NERICA は合計 140 万 ha に作付けされており、全体の約 13% を占めています。また、アフリカ全体の米生産量 2874 万トンに対し、NERICA の生産量は 295 万トンであり、10.3% を占めています。NERICA の栽培面積は、ナイジェリアが最大の 395,000 ha を占め、次いでギニアの 177,000 ha、マリの 172,000 ha、タンザニアの 149,400 ha、シエラレオーネが 105,000 ha と、これら 4 か国が NERICA の栽培面積 10 万 ha を超えています。一方、その生産量は、ナイジェリアの 69 万トンが最高で、マリの 57 万トン、タンザニアの 32 万トン、ギニアの 30 万トンが続いています。これに対して、NERICA の収量は、ルワンダの 4.88t/ha が最高であり、コートジボワールの 4.51t/ha、モーリタニアの 4.16t/ha が続きます。しかし、アフリカ全体の稲の平均収量 2.64t/ha に対して、NERICA の平均収量は 2.10t/ha と低かったのです。特に、コンゴとコンゴ民主、ガンビアおよびリベリアでは、NERICA の平均収量が 1t/ha にも達しませんでした。これは、余程の不適地に栽培されたか、あるいは適切な栽培管理がなされず、NERICA がもつ本来の多収性を発揮できなかったためと思われる。この他にも、カメルーン、チャド、ギニア、ギニアビサウ、ナイジェリア、シエラレオーネなどで、NERICA の平均収量が 2t/ha 以下でした。これらの国の NERICA 栽培には、未解明の根本的な問題があるかも知れません。このように、NERICA の栽培・普及は、国によってさまざまであり、まだ十分に普及されているとは言いがたい状態です。換言すれば、このような NERICA の低収地帯において、NERICA の適切な栽培管理を指導し、その技術を普及させることができれば、間違いなくアフリカ全体の稲の生産量が上がると予想できます。「アフリカ稲作振興のための共同体」(Coalition for African Rice Development: CARD) の次期フェーズでは、このような地域を重点的に稲作改善の指導することも、重要となりましょう。

世界のコメ統計 (2018) によれば、アフリカの一人当たり年間コメ消費量 (精米換算) は、1990 年代の 17kg から、2017 年には 30kg 以上になっています。30 年足らずでコメの消費量が約 2 倍になっているのです。アフリカの米の需要は、今後ますます増加すると予想されるので、それに見合う稲の生産量拡大が望まれます。

NERICA の出現が、アフリカの稲作に強烈なインパクトを与え、その将来に大きな希望の光を与えたことは確かです。しかし、上述のように、現時点で NERICA が当初の期待に応

えて、持てる力を十分発揮しているとは言いがたい状況です。NERICA が本来持っている多収性など性能を可能な限り引き出し、有効に活用することが、これからのアフリカ稲作の発展には欠かせないと思われます。いわば、NERICA の時代はまだ始まったばかりであり、これからであるとも言えましょう。

最近 AfricaRice では、ARICA (Advanced Rice for Africa) を育成・公表しています。NERICA が *O. sativa* と *O. glaberrima* の種間交雑に由来すると定義されたのに対し、この ARICA にはそのような定義はありません。現在 AfricaRice では、新しい育種タスクフォースの下、アフリカ内外から有用遺伝資源を導入する一方、各種ストレスに対する国際的現地試験を構成し、幅広く効率的な育種戦略を採っています (Kumashiro et al. 2013)。こうして、既に ARICA1 ~ ARICA18 の品種が育成・公表されています。

CARD の次期フェーズは、次の 10 年間にアフリカの稲生産をさらに倍増させる計画のようです (丸尾 2018)。NERICA や ARICA の適切な栽培管理技術の普及も、必ずその一翼を担うものと思います。

以下は JICA 広報からの引用です。

アフリカ・サブサハラ地域でコメの需要は今後も高まることが予測されるなか、コメの生産量を 2018 年の 2800 万トン (推定) から、2030 年までに 5600 万トンへとさらに引き上げ

表 27-1 サブサハラ諸国の NERICA 栽培状況 (2013 年)

| 国 | NERICA 栽培面積 (ha) | NERICA 生産量 (t) | NERICA 平均収量 (t/ha) |
|-------------|------------------|----------------|--------------------|
| ベナン | 17,747 | 50,287 | 2.8 |
| ブルキナファソ | 22,057 | 46,400 | 2.1 |
| カメルーン | 3,835 | 6,483 | 1.7 |
| 中央アフリカ | 2,286 | 6,260 | 2.7 |
| チャド | 33,005 | 48,609 | 1.5 |
| コンゴ | 531 | 250 | 0.5 |
| コートジボワール | 61,180 | 276,135 | 4.5 |
| コンゴ民主共和国 | 82,110 | 52,292 | 0.6 |
| エチオピア | 9,468 | 27,134 | 2.9 |
| ガボン | 100 | 250 | 2.5 |
| ガンビア | 7,800 | 6,681 | 0.9 |
| ガーナ | 34,761 | 83,891 | 2.4 |
| ギニア | 177,100 | 302,407 | 1.7 |
| ギニアビサウ | 21,735 | 30,891 | 1.4 |
| リベリア | 37,030 | 35,057 | 0.9 |
| マダガスカル | 14,300 | 40,800 | 2.9 |
| マリ | 172,352 | 570,233 | 3.3 |
| モーリタニア | 6,440 | 26,809 | 4.2 |
| ニジェール | 2,093 | 5,892 | 2.8 |
| ナイジェリア | 395,200 | 690,900 | 1.7 |
| ルワンダ | 2,828 | 13,809 | 4.9 |
| セネガル | 17,425 | 62,379 | 3.6 |
| シエラレオーネ | 104,650 | 184,944 | 1.8 |
| トーゴ | 10,465 | 24,304 | 2.3 |
| ウガンダ | 14,973 | 31,522 | 2.1 |
| タンザニア | 149,452 | 323,287 | 2.2 |
| 合計 (2013) | 1,400,923 | 2,947,905 | 2.1 |
| 全アフリカ稲合計 | 10,894,197 | 28,742,087 | 2.6 |
| 全アフリカ対比 (%) | 12.9 | 10.3 | |

注 1) 全アフリカ稲合計は、アフリカ全土の稲作の合計、

注 2) 全アフリカ対比 (%) は、全アフリカに対する各国 NERICA 合計の比。

(出典) Africa Rice Center 提供 (2018 年 8 月 4 日)

ることを目標とする CARD フェーズ 2 に向けた議論が進んでいます。対象国も現在の 23 カ国に加え、アンゴラ、スーダンなど 9 カ国が新たに参加を希望しています。

アフリカの持続可能な開発を後押しするアフリカ開発のための新パートナーシップ (NEPAD) 調整庁などとの連携をさらに図り、アフリカ主導で稲作振興を進める取り組みを JICA も後押ししていきます。CARD 総会での最終合意を得て、今年 8 月 28 日～30 日に横浜で開催される第 7 回アフリカ開発会議 (TICAD7) の開催年である 2019 年より CARD フェーズ 2 が始まる予定です。

発行:(公社)国際農林業協働協会(JAICAF)
〒107-0052 東京都港区赤坂 8 丁目 10-39 赤坂 KSA ビル 3 階